

4 : 「がん」検診について
 (3) メリット・デメリット

問 1 3. がん検診にはメリットとデメリットがあることを知っていますか。

【全体】

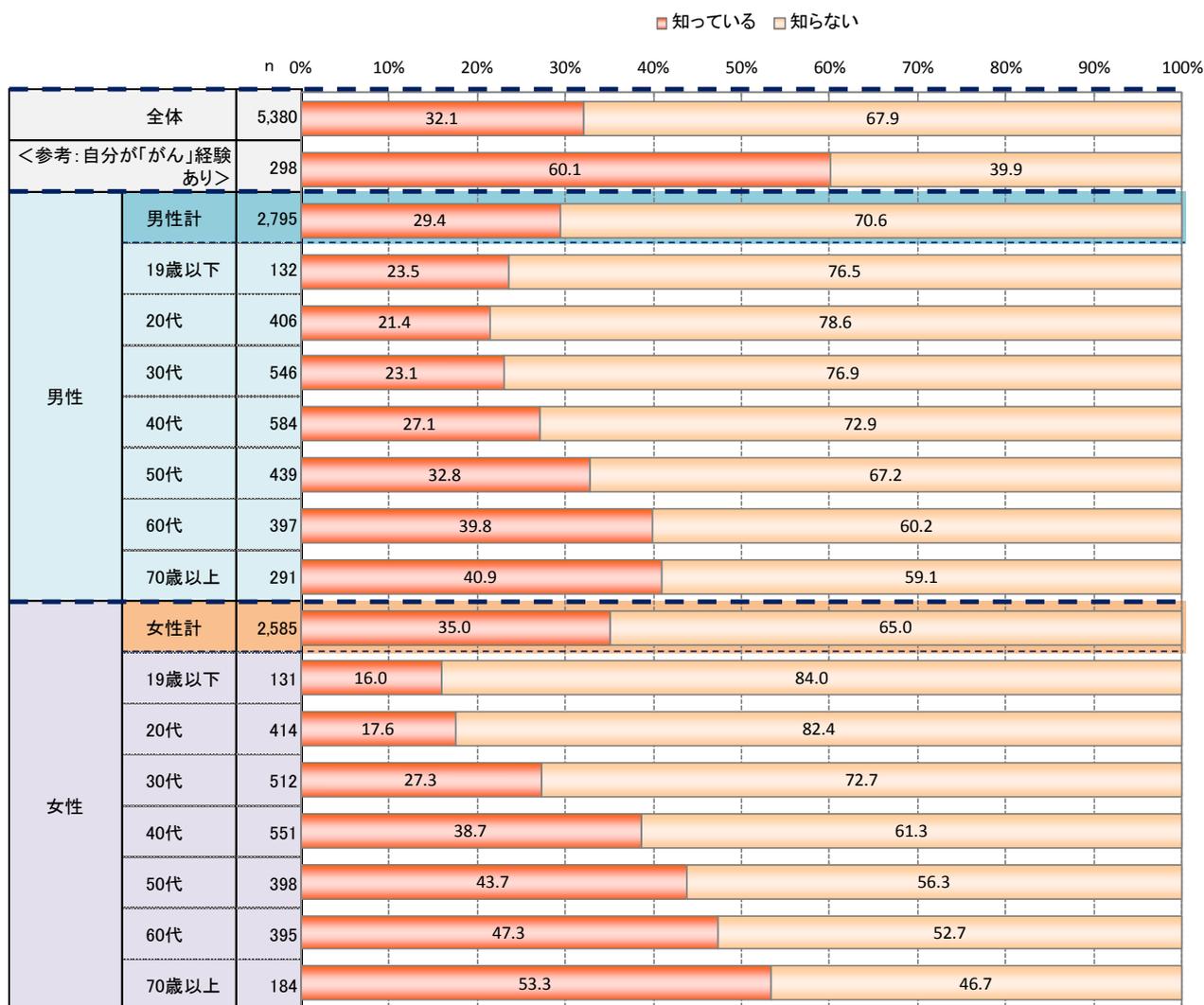
- ・ 「知っている」が 32.1%、「知らない」が 67.9%である。

【性別×年代別】

- ・ 「女性：70歳以上」を除く全ての性別・年代で「知らない」が過半数を超えている。
- ・ 男性で「知っている」が最も少ないのは、「20代」の 21.4%である。女性では、「19歳以下」の 16.0%である。男女ともに年代が上がるにつれて、「知っている」が多くなる。
- ・ 「19歳以下」「20代」での男女間で比べると、「知っている」は、男性が女性を上回るが、「30代」より上の年代ではそれが逆転し、女性が男性を上回る。

【自分の「がん」経験有無による比較】

- ・ 問 4 で自分が「がん」になったことがあると回答した人（回答者数：298名）のうち、「知っている」が 60.1%であり、全体の 32.1%と比べて 28.0ポイント多い。



4：「がん」検診について

(3) メリット・デメリット

ア 早期発見でき、早めに治療ができる

問13-2. 次の項目は、がん検診のメリット・デメリットのどちらだと思いますか。

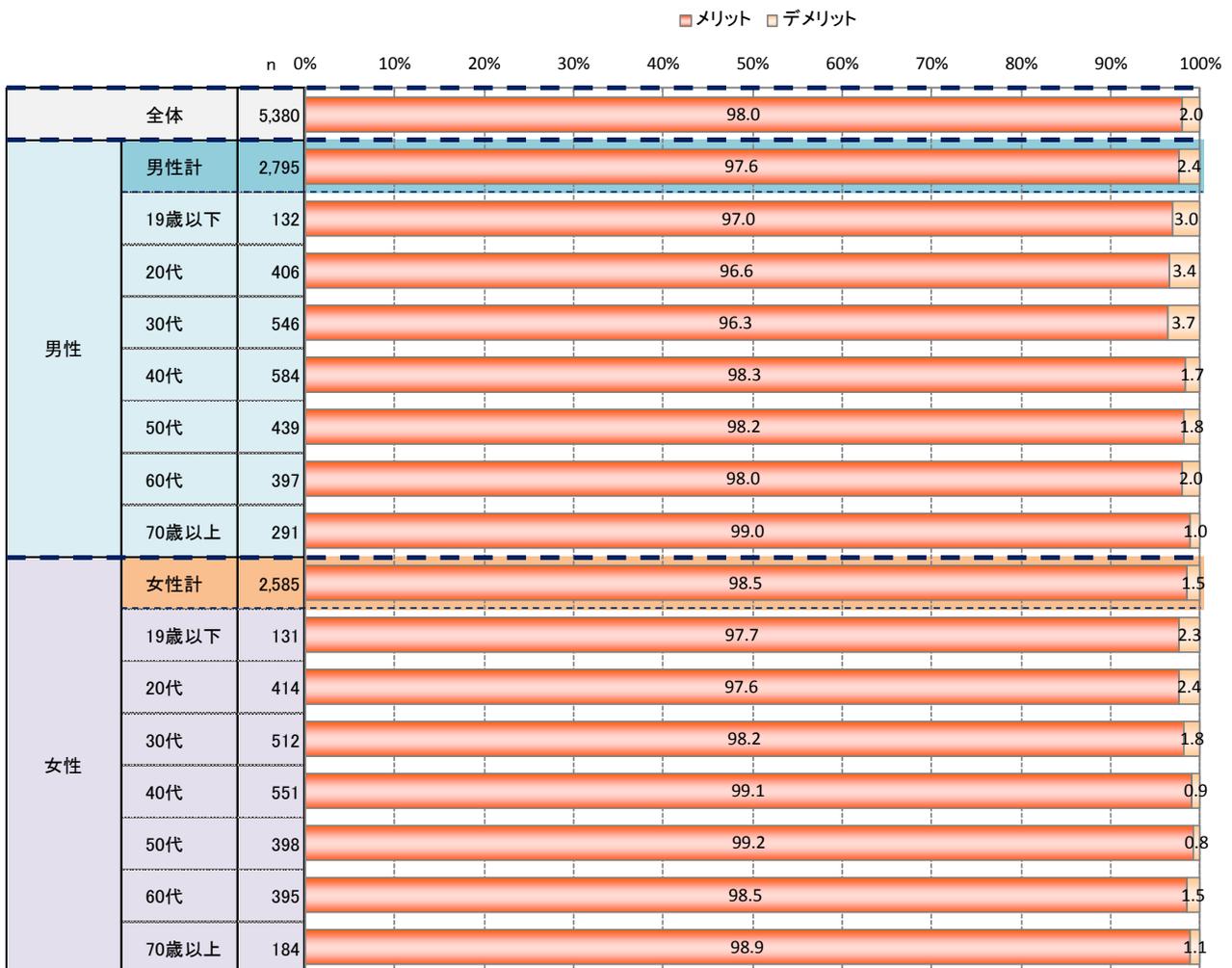
(1) 早期発見でき、早めに治療ができる

【全体】

- ・ 「メリット」が98.0%であり、「デメリット」が2.0%と少数である。

【性別×年代別】

- ・ 「メリット」は、男性が97.6%、女性が98.5%であり、女性の方が多い。
- ・ 全ての性別、年代で「メリット」という回答が95%を超えている。



4：「がん」検診について

(3) メリット・デメリット

イ がんになる前の状態（ポリープ等）を発見し、治療することでがんを防止できる

問13-2. 次の項目は、がん検診のメリット・デメリットのどちらだと思いますか。

(2) がんになる前の状態（ポリープ等）を発見し、治療することでがんを防止できる

【全体】

- ・ 「メリット」が96.5%であり、「デメリット」は3.5%と少数である。

【性別×年代別】

- ・ 「メリット」は、男性は95.7%であるのに対し、女性は97.4%であり、女性の方が多い。
- ・ 「男性：19歳以下」「男性：30代」を除く全ての年代で、「メリット」が95%を超えている。



4：「がん」検診について

(3) メリット・デメリット

ウ 「がんがない」ことを確認でき、安心できる

問13-2. 次の項目は、がん検診のメリット・デメリットのどちらだと思いますか。

(3) 「がんがない」ことを確認でき、安心できる

【全体】

- ・ 「メリット」が91.5%であり、「デメリット」は8.5%と少数である。

【性別×年代別】

- ・ 「メリット」は、男性は90.6%であるのに対し、女性は92.6%と女性の方が多い。
- ・ 年代別では、男性では「30代」、女性では「20代」までで、「メリット」が90%未満であるが、それより上の年代では「メリット」が90%を超えている。
- ・ 「19歳以下」では「メリット」が、男性は82.6%、女性は87.8%であり、男性の方が5.2ポイント少ない。



4：「がん」検診について

(3) のメリット・デメリット

エ 検診でがんが100%見つかるわけではない

問13-2. 次の項目は、がん検診のメリット・デメリットのどちらだと思いますか。

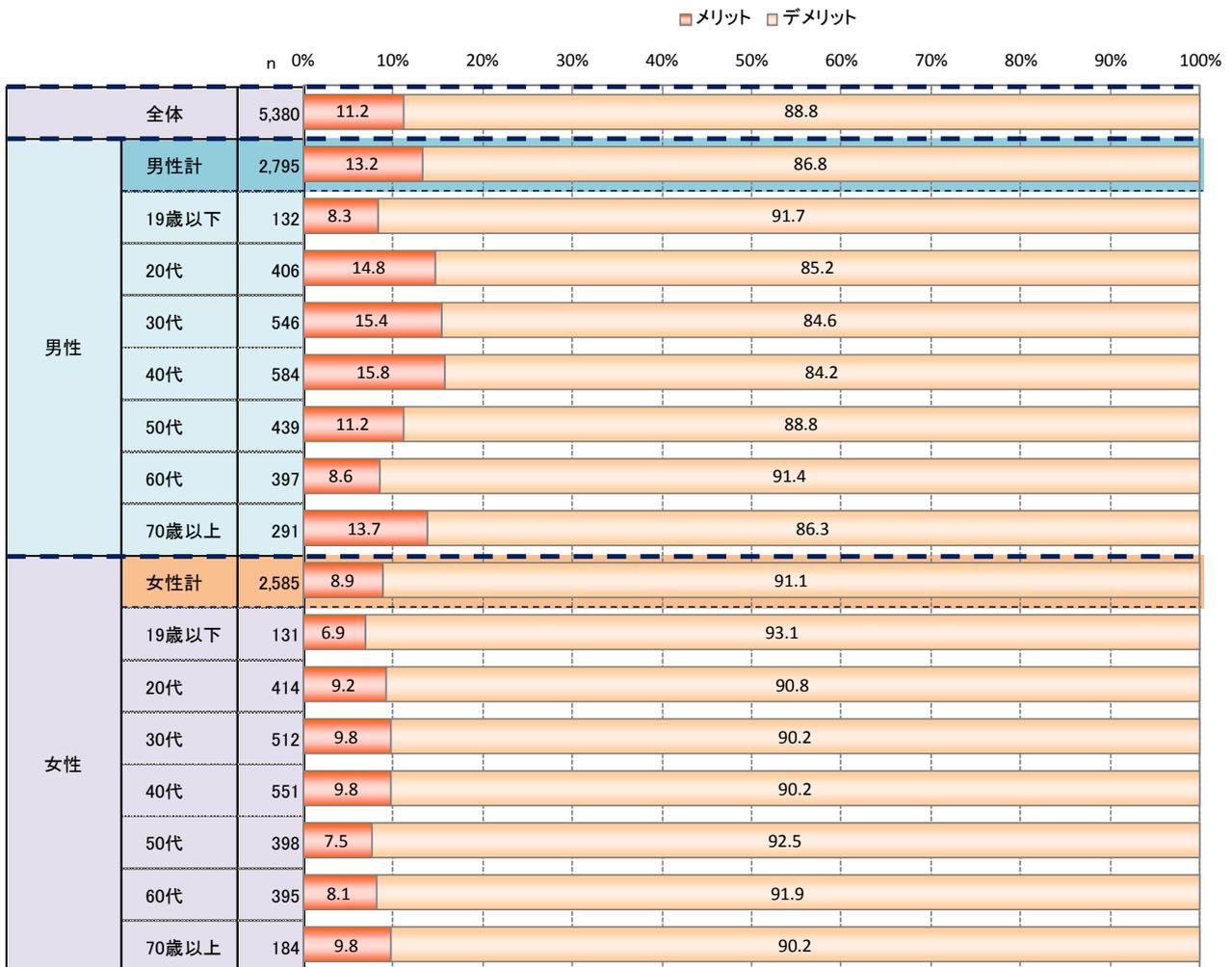
(4) 検診でがんが100%見つかるわけではない

【全体】

- ・ 「メリット」は11.2%であるのに対し、「デメリット」が88.8%と回答の大多数を「デメリット」が占めている。

【性別×年代別】

- ・ 「デメリット」は男性が86.8%なのに対し、女性は91.1%であり、女性の方が「検診がんが100%見つかるわけではない」ことはデメリットだと考えている人が多い。
- ・ 年代・男女別で比べると、「デメリット」は、全年代で男性より女性の方が多い。



4：「がん」検診について

(3) メリット・デメリット

オ 検診で「がんの疑い有」とされ、精密検査を受けたらがんではなかった

問13-2. 次の項目は、がん検診のメリット・デメリットのどちらだと思いますか。

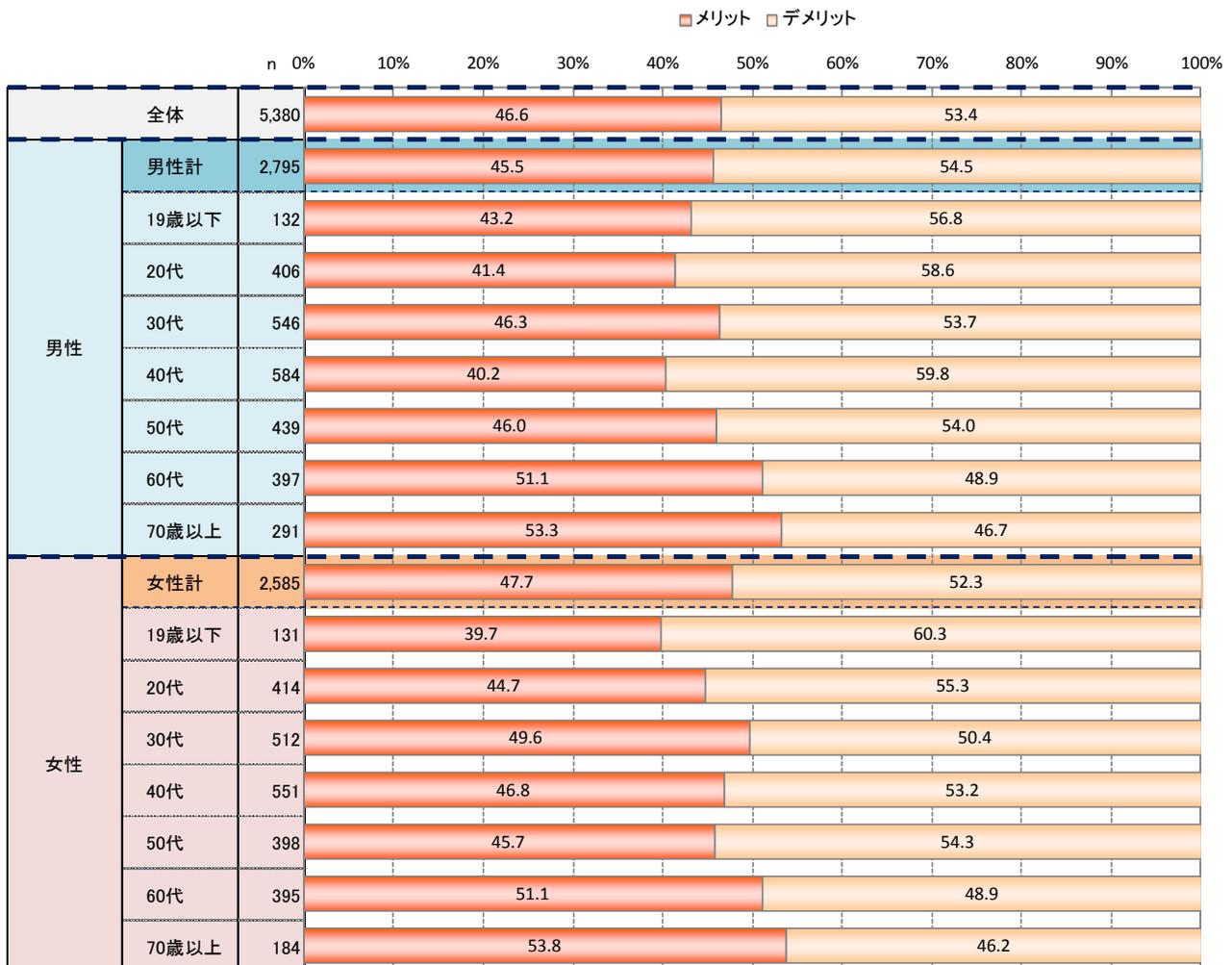
(5) 検診で「がんの疑い有」とされ、精密検査を受けたらがんではなかった

【全体】

- ・ 「メリット」が46.6%、「デメリット」が53.4%である。

【性別×年代別】

- ・ 「デメリット」と回答した割合は男性が54.5%、女性は52.3%であり、男性の方が2.2ポイント高い。
- ・ 「デメリット」と回答した割合が年代別で最も低いのは、男女ともに「70歳以上」であり、男性は46.7%、女性は46.2%である。
- ・ 「デメリット」と回答した割合が年代別で最も高いのは、男性は「40代」の59.8%、女性は「19歳以下」の60.3%である。



4：「がん」検診について
 (3) メリット・デメリット
 カ 検査による放射線被曝

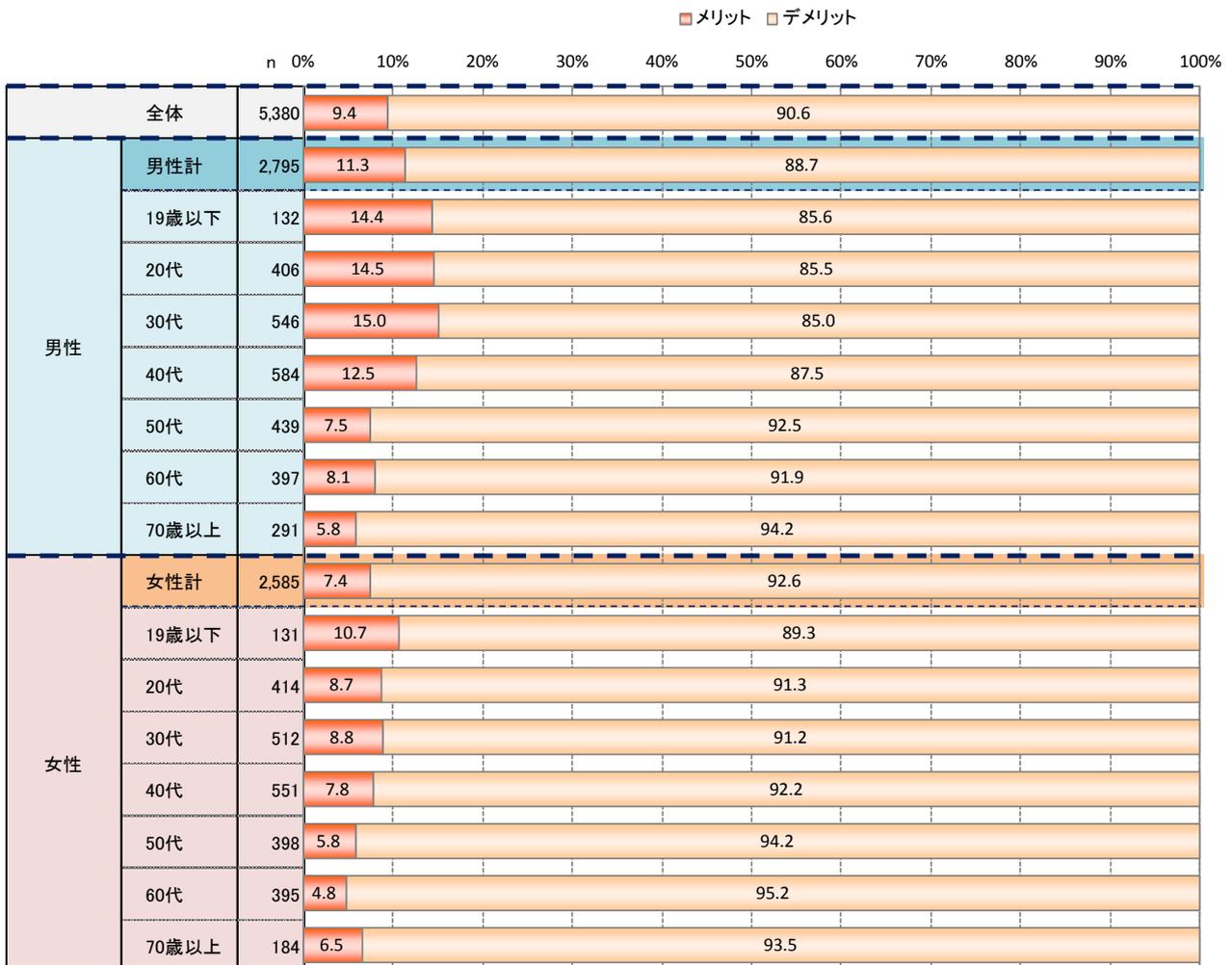
問13-2. 次の項目は、がん検診のメリット・デメリットのどちらだと思いますか。
 (6) 検査による放射線被曝

【全体】

- ・ 「メリット」が9.4%であり、「デメリット」は90.6%である。回答の大多数を「デメリット」が占めている。

【性別×年代別】

- ・ 「デメリット」は、男性が88.7%、女性は92.6%と、女性の方が3.9ポイント多い。
- ・ 「デメリット」が90%を超えているのは、男性では「50代」「60代」「70歳以上」であるが、女性は「19歳以下」を除く全年代である。



4 : 「がん」検診について

(4) 検診後の精密検査を受診するか否か

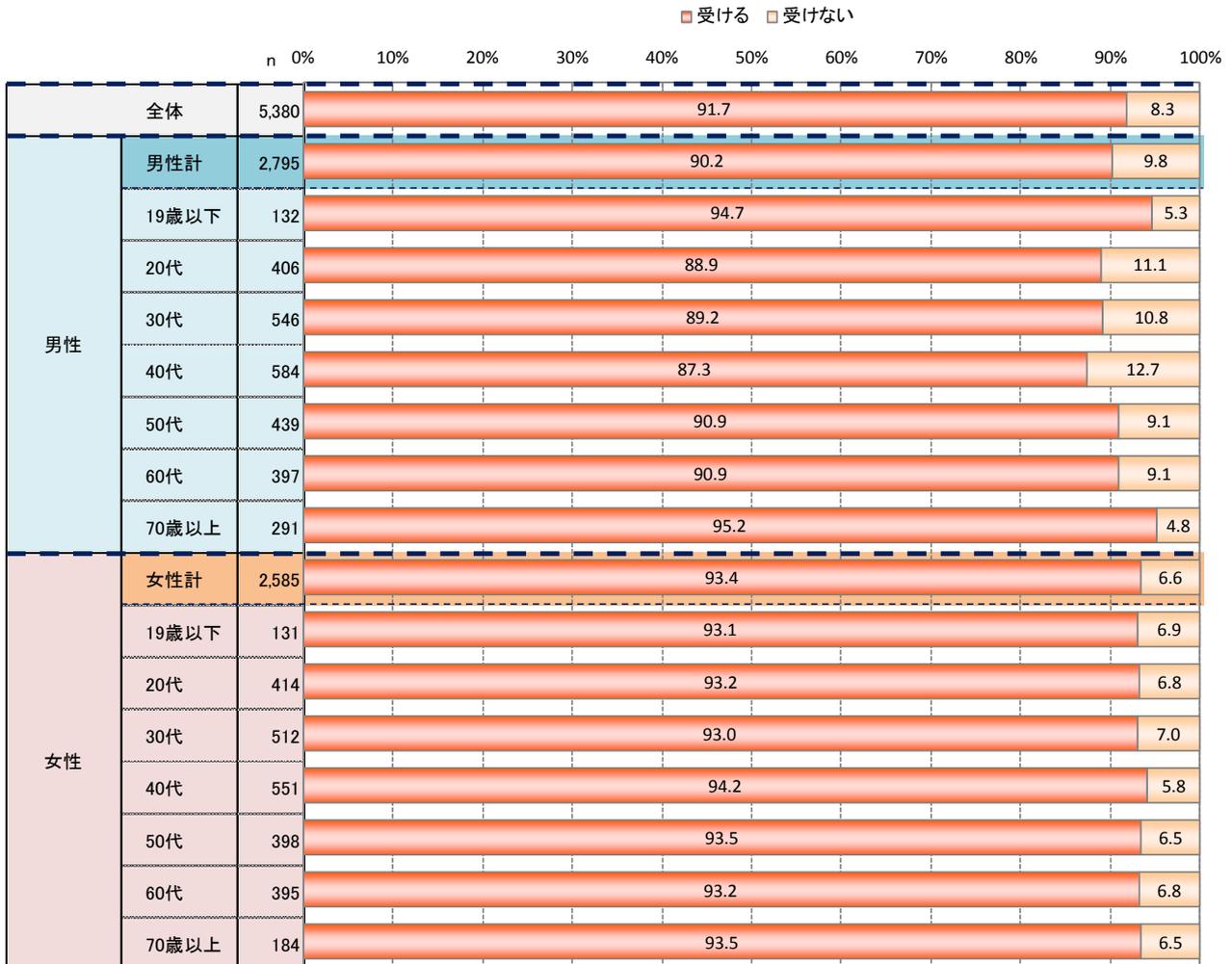
問 1 4. あなたが、もし、がん検診で「要精密検査」とされた場合、精密検査を受けますか。

【全体】

- ・ 「受ける」が91.7%で大多数を占め、「受けない」が8.3%であった。

【性別×年代別】

- ・ 男女別に比べると、「受ける」が、男性は90.2%、女性は93.4%であり、女性の方が男性に比べて3.2ポイント多い。
- ・ 年代別に比べると、「受ける」が最も多いのは、「男性：70歳以上」の95.2%であり、最も少ないのは「男性：40代」の87.3%である。
- ・ 女性では全ての年代で「受ける」という回答が93~94%台であるが、「男性：20代」「男性：30代」「男性：40代」は、「受ける」という回答が90%未満である。



4：「がん」検診について

(4) 検診後の精密検査を受診しない理由

問14-2. 問14で「受けない」と回答した方にお聞きます。

精密検査を受けない理由は何ですか。

【回答の選択肢】（複数選択可）

「忙しいから（仕事、家事、育児、介護等）」 「自覚症状が無いので、大丈夫だと思うから」

「がんが見つかったら怖いから」 「心配になったらいつでも医療機関を受診できるから」

「精密検査をどこで受ければいいのか分からないから」 「費用が高いから」

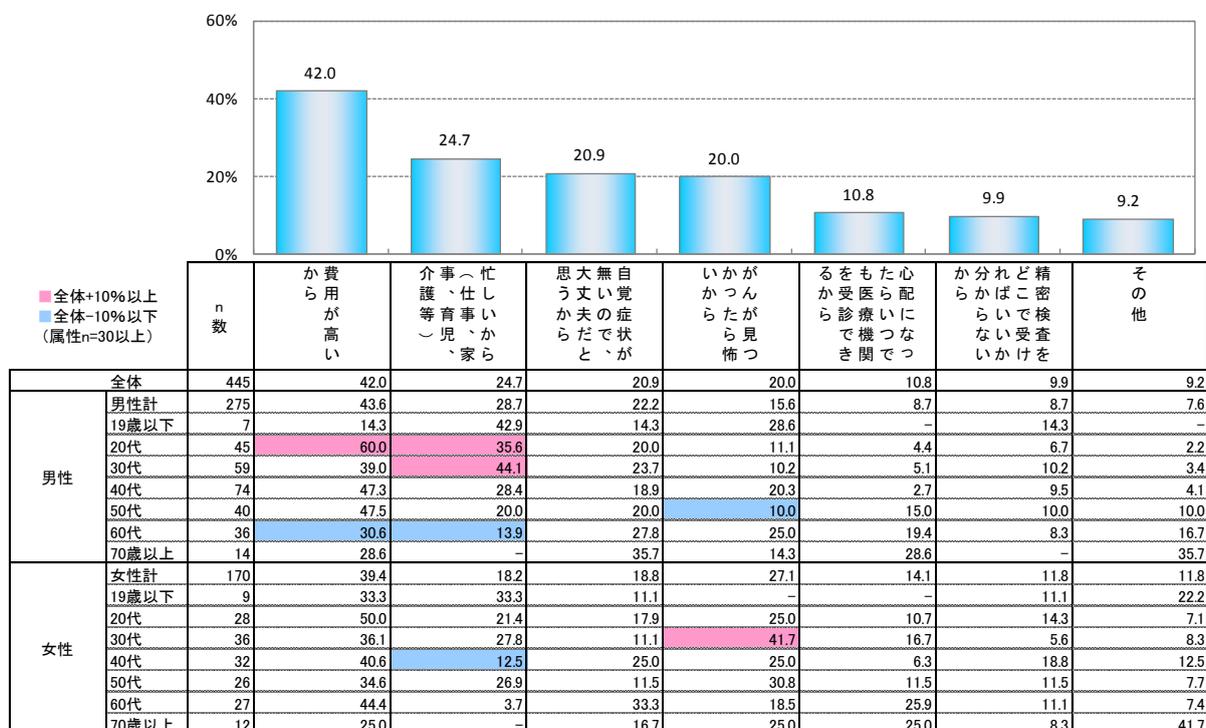
「その他（自由回答）」

【全体】

- 問14で精密検査を受けないと回答した人（回答者数445名）に精密検査を受けない理由について尋ねたところ、「費用が高いから」が42.0%で1位であった。次に、「忙しいから（仕事、家事、育児、介護等）」が24.7%で2位、「自覚症状が無いので、大丈夫だと思うから」が20.9%で3位、「がんが見つかったら怖いから」が20.0%で4位である。

【性別×年代別】

- 男女別では、男女ともに「費用が高いから」が最も多いが、次に多い回答が男性は「忙しいから（仕事、家事、育児、介護等）」であるのに対し、女性は「がんが見つかったら怖いから」である。
- 年代別では「男性：20代」は「費用が高いから」が60.0%、「男性：20代」「男性：30代」は「忙しいから（仕事、家事、育児、介護等）」がそれぞれ35.6%、44.1%、「女性：30代」は「がんが見つかったら怖いから」が41.7%と、同じ項目の男性計、女性計と比べてこれらの回答が多い。



4 : 「がん」検診について

(5) 「がん」検診に関し、提供してほしい情報

問15. 「がん」検診について、東京都からどのような情報が得られるとよいと思いますか。

【回答の選択肢】（ひとつだけ選択）

「専門用語の説明やデータの見方の説明」

「がん検診受診率等の過去数年間の変化」

「がん検診に関する自治体の取組が比較できる情報」

「がん検診に関する最新の文献・研究論文の紹介」

「その他（自由回答）」

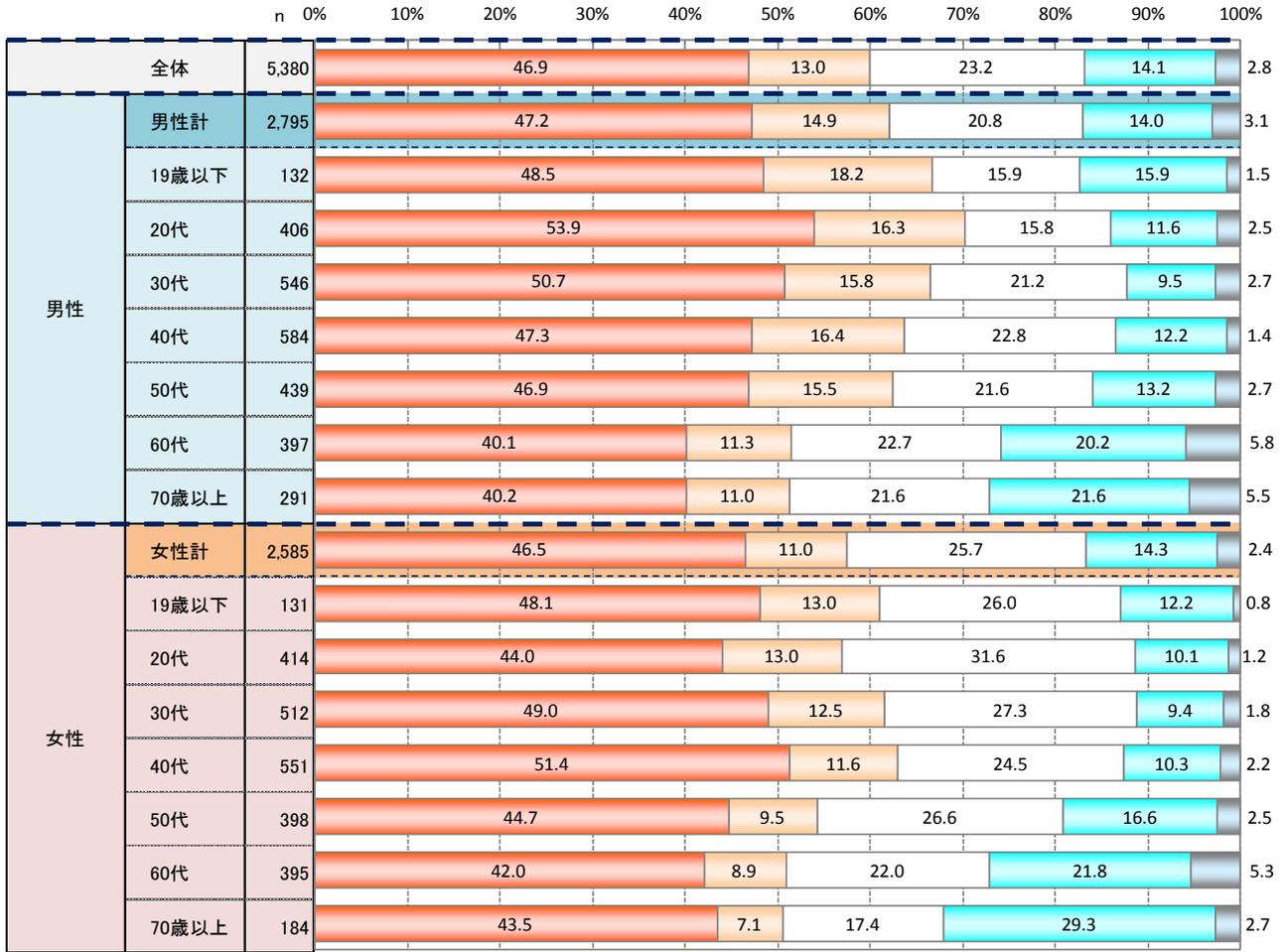
【全体】

- ・ 「専門用語の説明やデータの見方の説明」が46.9%で1位であり、全体の50%弱を占めている。次に、「がん検診に関する自治体の取組が比較できる情報」が23.2%で2位、「がん検診に関する最新の文献・研究論文の紹介」が14.1%で3位、「がん検診受診率等の過去数年間の変化」が13.0%で4位である。

【性別×年代別】

- ・ 男女別では、傾向に明確な違いがみられないが、女性は「がん検診に関する自治体の取組が比較できる情報」が25.7%であり、男性の20.8%と比べて4.9ポイント多い。
- ・ 20代の男女別で比べると、「専門用語やデータの見方の説明」が男性は53.9%と過半数を超えているのに対し、女性は44.0%であり、男性の方が9.9ポイント多い。
- ・ 「専門用語やデータの見方の説明」が最も多い年代は、男性が「20代」（53.9%）であるのに対し、女性は「40代」（51.4%）である。

- 専門用語の説明やデータの見方の説明
- がん検診受診率等の過去数年間の変化
- がん検診に関する自治体の取組が比較できる情報
- がん検診に関する最新の文献・研究論文の紹介
- その他



5 : 「肝炎ウイルス」について
(1) 肝炎ウイルスの認知度

問16. あなたは「肝炎ウイルス」を知っていますか。

【回答の選択肢】 (ひとつだけ選択)

「内容を知っている」「聞いたことがある」「知らない」

【全体】

- ・ 「聞いたことがある」が60.1%と最も高く、次に「知らない」(22.5%)、「内容を知っている」(17.4%)と続く。

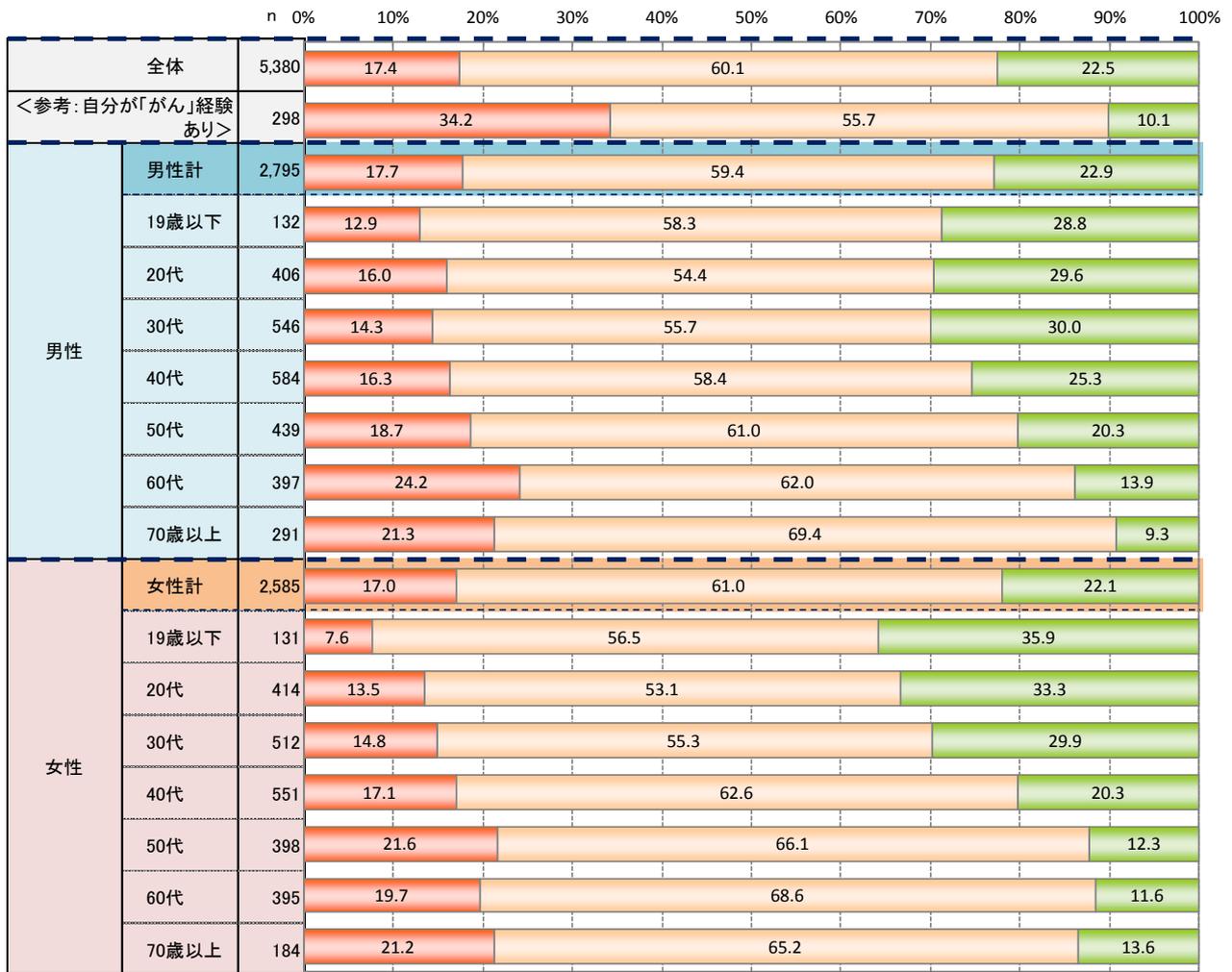
【性別×年代別】

- ・ 男女別では回答傾向に違いは見られず、「内容を知っている」は男性が17.7%、女性が17.0%である。
- ・ 「内容を知っている」が20%を超えたのは年代別では、「男性：60代」が24.2%、「男性：70歳以上」が21.3%、「女性：50代」が21.6%、「女性：70歳以上」が21.2%である。
- ・ 男女とも、「内容を知っている」は「19歳以下」で最も低く、男性が12.9%、女性が7.6%と、「肝炎ウイルス」について若い世代の認知度が低いことが伺える。

【自分の「がん」経験有無による比較】

- ・ 問4で自分が「がん」になったことがあると回答した人(回答者数：298名)のうち、「内容を知っている」は34.2%であり、全体の17.4%と比べると16.8ポイント多い。

■ 内容を知っている ■ 聞いたことがある ■ 知らない



5 : 「肝炎ウイルス」について
(2) 肝炎ウイルスへの考え

問17. 「肝炎ウイルス」について、あなたのお考えをお聞かせ下さい。

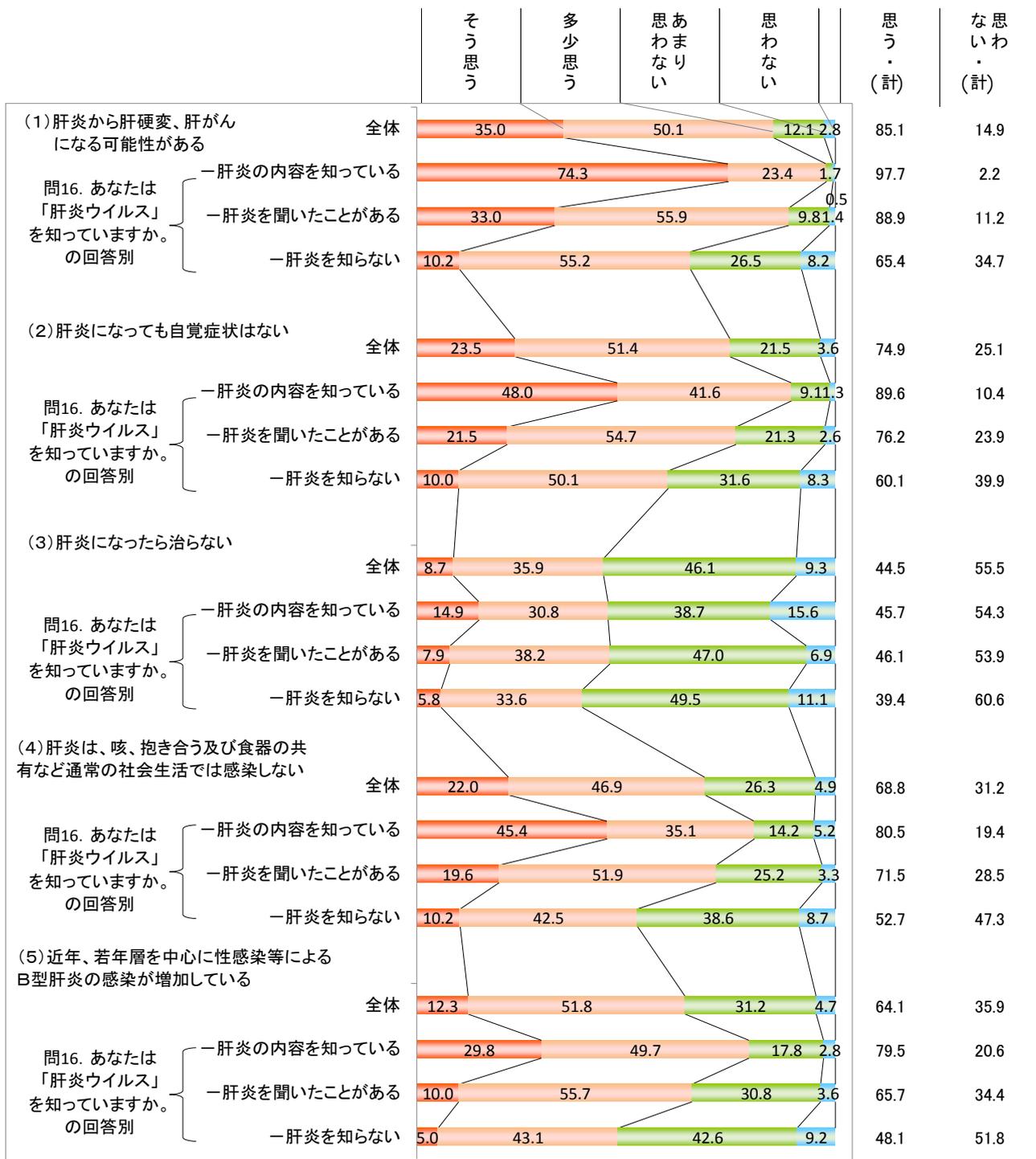
(1)～(5)の項目に対し、
それぞれ「そう思う」「多少思う」「あまり思わない」「思わない」からひとつ選択

【全体】

- ・ 「(1) 肝炎から肝硬変、肝がんになる可能性がある」については、「思う(計)」が85.1%である。
- ・ 「(5) 近年、若年層を中心に性感染等によるB型肝炎の感染が増加している」については、「思う(計)」が64.1%と3分の2弱に達している。
- ・ 「(3) 肝炎になったら治らない」については、「思う(計)」が44.5%である。

【肝炎ウイルスの認知度別】

- ・ 問16の肝炎ウイルス認知度別に集計してみると、「肝炎の内容を知っている」層ではほかの回答層と比べ、以下のような回答傾向の違いが見られる。
- ・ 「(1) 肝炎から肝硬変、肝がんになる可能性がある」については、「そう思う」が、「肝炎の内容を知っている」層では74.3%であり、全体の35.0%と比べて39.3ポイント多い。
- ・ 「(2) 肝炎になっても自覚症状はない」については、「そう思う」が、「肝炎の内容を知っている」層では48.0%であり、全体の23.5%と比べて24.5ポイント多い。
- ・ 「(3) 肝炎になったら治らない」については、「そう思う」が、「肝炎の内容を知っている」層では45.7%と全体の44.5%とほぼ同じ水準であるが、「肝炎を知らない」層では39.4%であり、全体と比べて5.1ポイント低い。
- ・ 「(4) 肝炎は、咳、抱き合う及び食器の共有など通常の社会生活では感染しない」については、「そう思う」が、「肝炎の内容を知っている」層では45.4%であり、全体の22.0%と比べて23.4ポイント多い。
- ・ 「(5) 近年、若年層を中心に性感染等によるB型肝炎の感染が増加している」については、「そう思う」が、「肝炎の内容を知っている」層では29.8%であり、全体の12.3%と比べて17.5ポイント多い。



5 : 「肝炎ウイルス」について

(2) 肝炎ウイルスへの考え

問17. 「肝炎ウイルス」について、あなたのお考えをお聞かせ下さい。

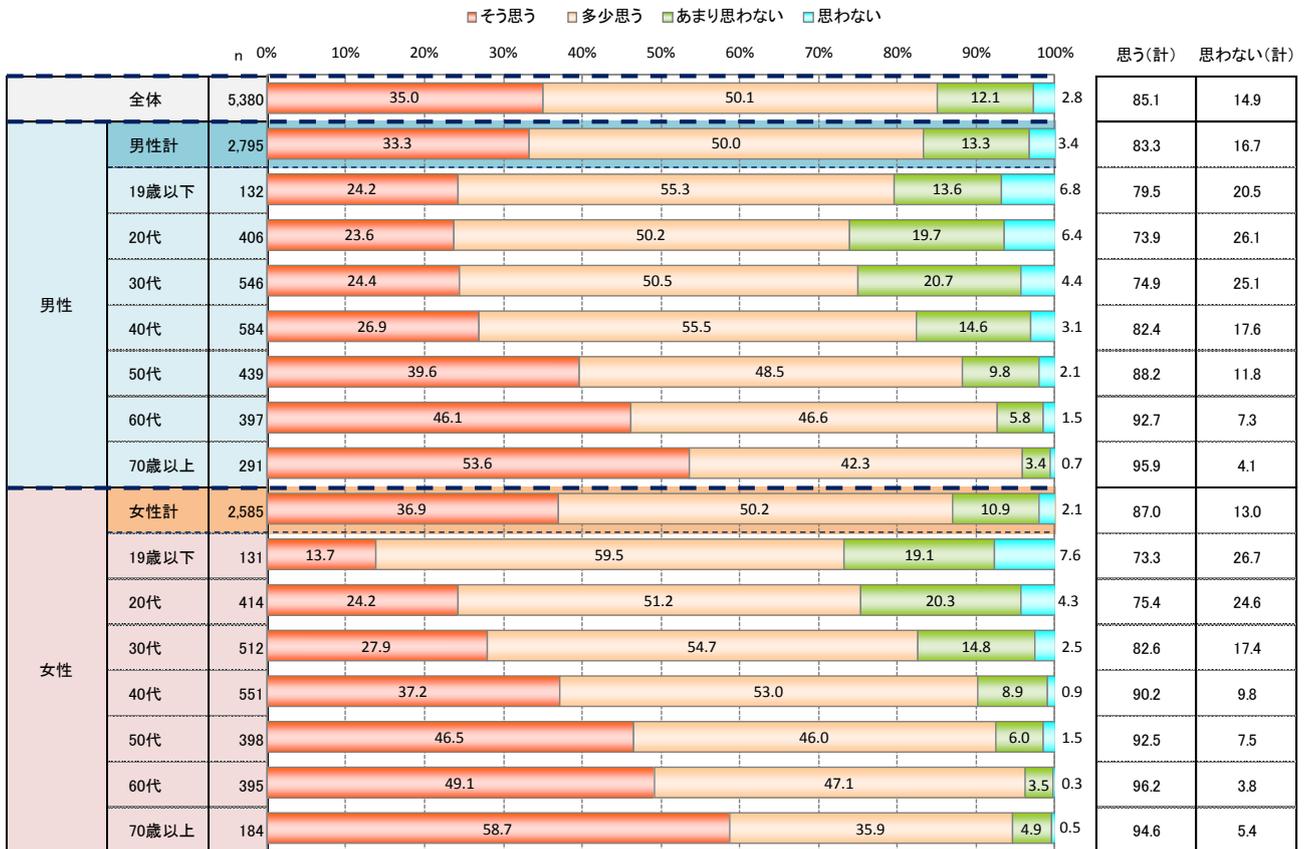
(1) 肝炎から肝硬変、肝がんになる可能性がある

【全体】

- 「思う（計）」が85.1%と80%以上を占めており、「思わない（計）」は14.9%である。

【性別×年代別】

- 男女別では、「思う（計）」は、男性が83.3%、女性が87.0%であり、女性の方が3.7ポイント多い。
- 男女ともに、年代が上がるにつれて「思う（計）」が多くなる。男性は、「70歳以上」が95.9%で最も多く、女性では、「60代」の96.2%が最も多い。
- 「思わない（計）」が最も多いのは、男性は「20代」の26.1%、女性は「19歳以下」の26.7%である。



5 : 「肝炎ウイルス」について

(2) 肝炎ウイルスへの考え

問17. 「肝炎ウイルス」について、あなたのお考えをお聞かせ下さい。

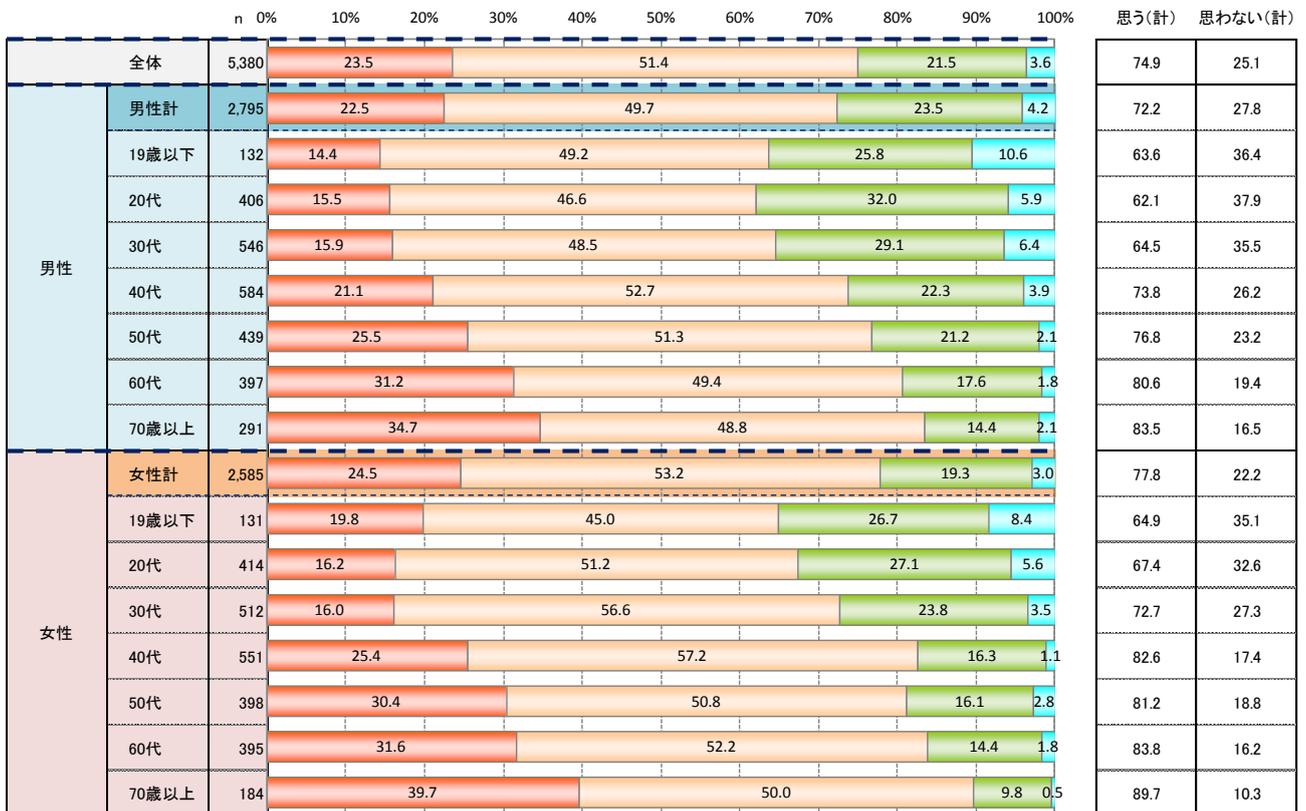
(2) 肝炎になっても自覚症状はない

【全体】

- ・ 「思う（計）」が74.9%と全体の約4分の3に達し、「思わない（計）」が25.1%である。

【性別×年代別】

- ・ 男女別では、「思う（計）」は、男性が72.2%、女性が77.8%であり、女性の方が5.6ポイント多い。
- ・ 「思う（計）」は年代が上がるにつれて高くなる傾向にある。男性では、「20代」の62.1%が最も少ないが、「70歳以上」では83.5%と80%を超えている。女性では、「19歳以下」の64.9%が最も少ないが、「70歳以上」では89.7%と約90%に達している。
- ・ 「男性：19歳以下」は、「思わない」という回答が10%を超えた唯一の年代である。



5 : 「肝炎ウイルス」について
 (2) 肝炎ウイルスへの考え

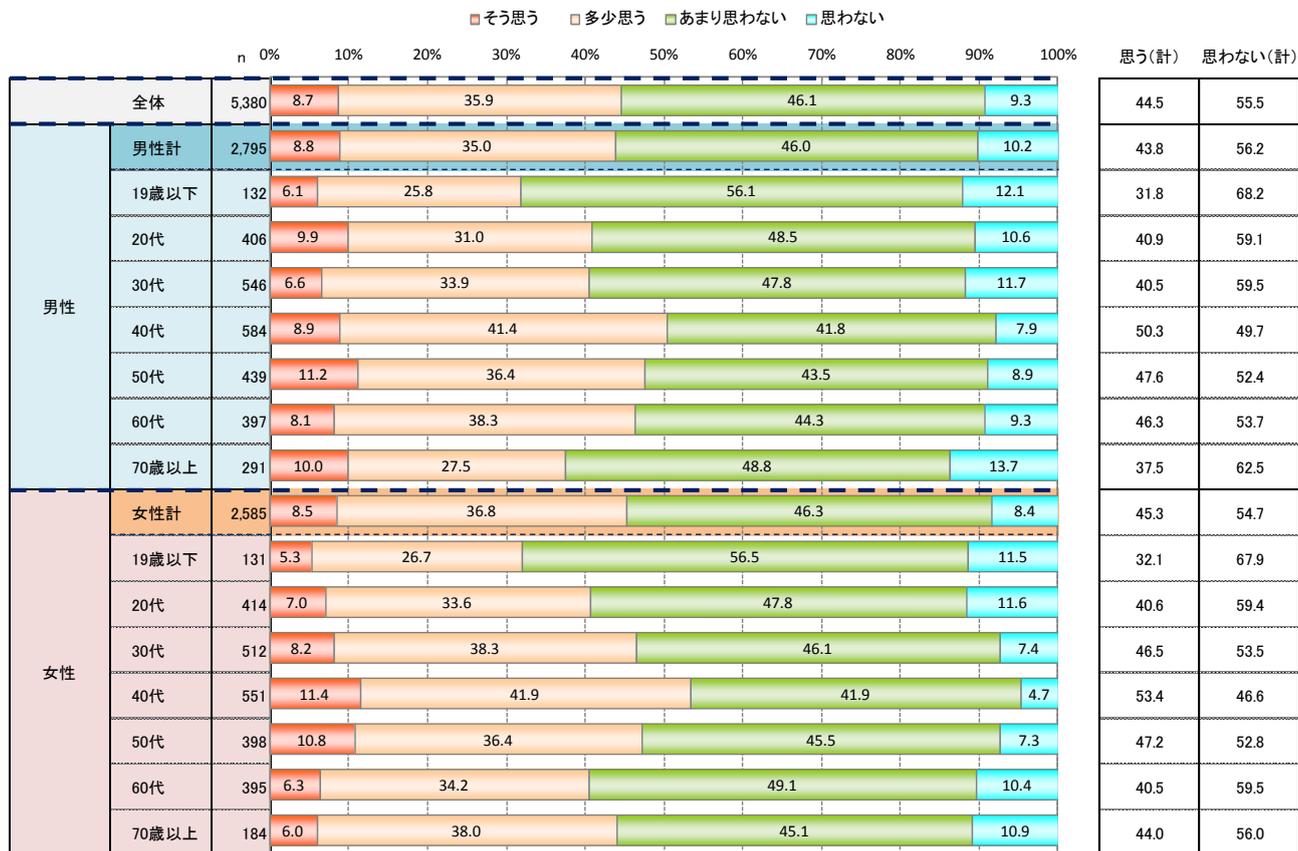
問17. 「肝炎ウイルス」について、あなたのお考えをお聞かせ下さい。
 (3) 肝炎になったら治らない

【全体】

- ・ 「思う (計)」 が 44.5%、「思わない (計)」 は 55.5%である。

【性別×年代別】

- ・ 男女別では、「思う (計)」 は、男性が 43.8%、女性が 45.3%であり、女性の方が 1.5 ポイント多い。
- ・ 「思う (計)」 は、「男性：40代」で 50.3%、「女性：40代」で 53.4%であり、「40代」は、「思う (計)」 が 50%を超えた唯一の年代である。
- ・ 男女ともに、「19歳以下」は「思わない (計)」 が 3分の2を超えている。



5 : 「肝炎ウイルス」について
 (2) 肝炎ウイルスへの考え

問17. 「肝炎ウイルス」について、あなたのお考えをお聞かせ下さい。

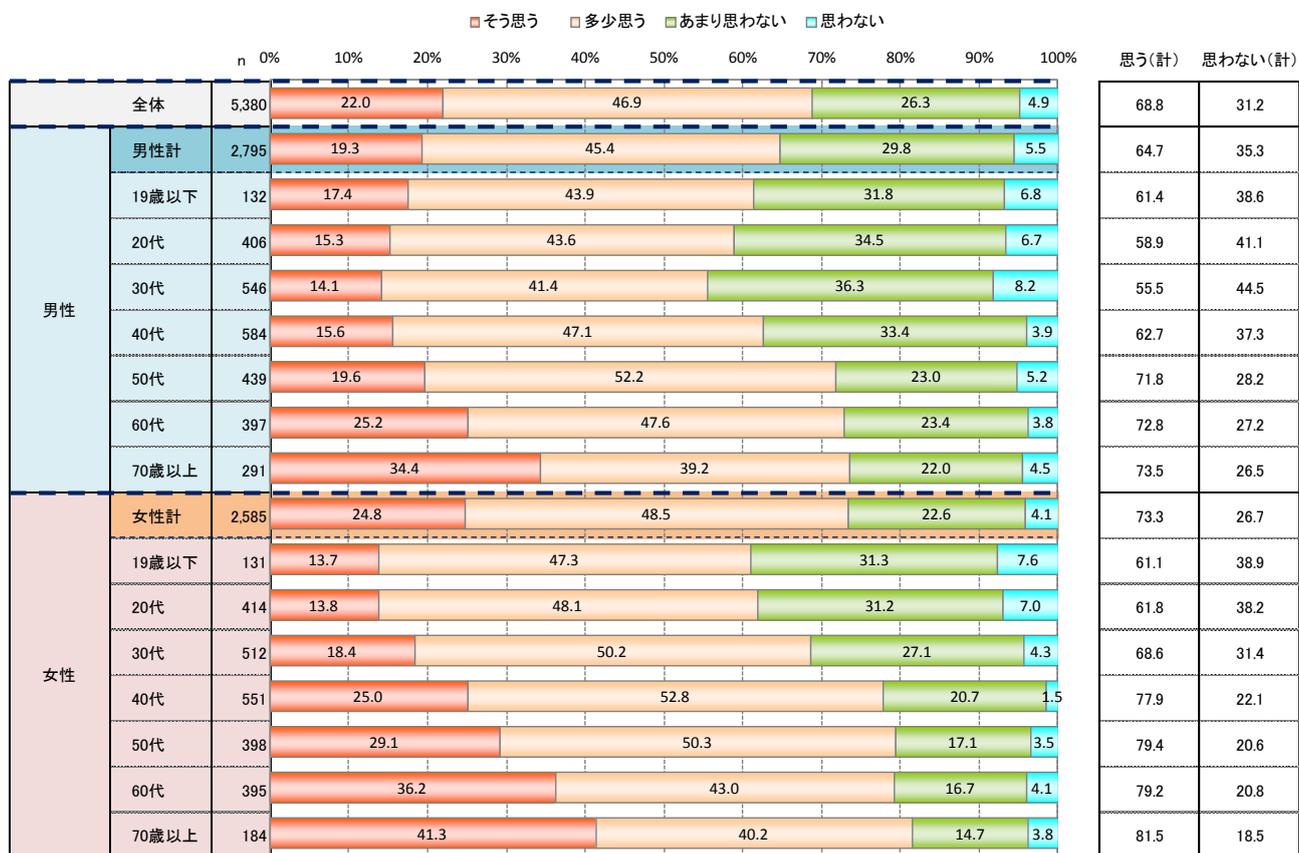
(4) 肝炎は、咳、抱き合う及び食器の共有など通常の社会生活では感染しない

【全体】

- ・ 「思う(計)」が68.8%と全体の3分の2を超え、「思わない(計)」は31.2%である。

【性別×年代別】

- ・ 男女別では、「思う(計)」は、男性が64.7%、女性が73.3%であり、女性の方が8.6ポイント多い。
- ・ 「思う(計)」を同年代の男女別で比べると、「19歳以下」を除いて、女性の方が男性より「思う(計)」が多い。
- ・ 男女ともに「思う(計)」が最も多いのは「70歳以上」(男性：73.5%、女性：81.5%)である。最も少ないのは男性が30代(55.5%)であるが、女性は「19歳以下」(61.1%)である。



5 : 「肝炎ウイルス」について

(2) 肝炎ウイルスへの考え

問17. 「肝炎ウイルス」について、あなたのお考えをお聞かせ下さい。

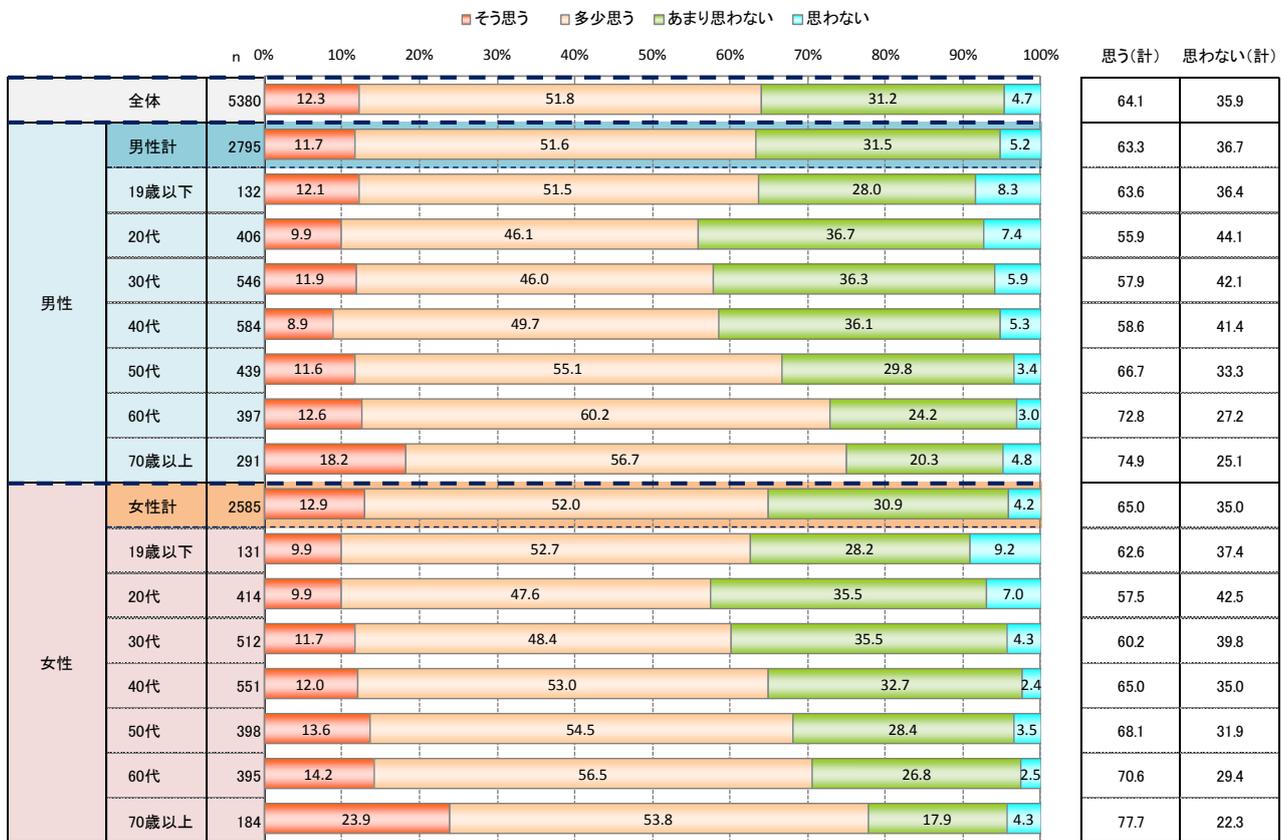
(5) 近年、若年層を中心に性感染等によるB型肝炎の感染が増加している

【全体】

- ・ 「思う(計)」が64.1%と過半数に達し、「思わない(計)」が35.9%である。

【性別×年代別】

- ・ 男女別では、「思う(計)」は、男性が63.3%、女性は65.0%であり、女性の方が1.7ポイント多い。
- ・ 年代別では男女ともに、「19歳以下」を除き、年代が上がるにつれて「思う(計)」が多くなり、「60代」「70歳以上」では70%を超えている。



5 : 「肝炎ウイルス」について

(2) 肝炎ウイルス検査

問18. あなたはこれまでに、肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか。

【回答の選択肢】 (ひとつだけ選択)

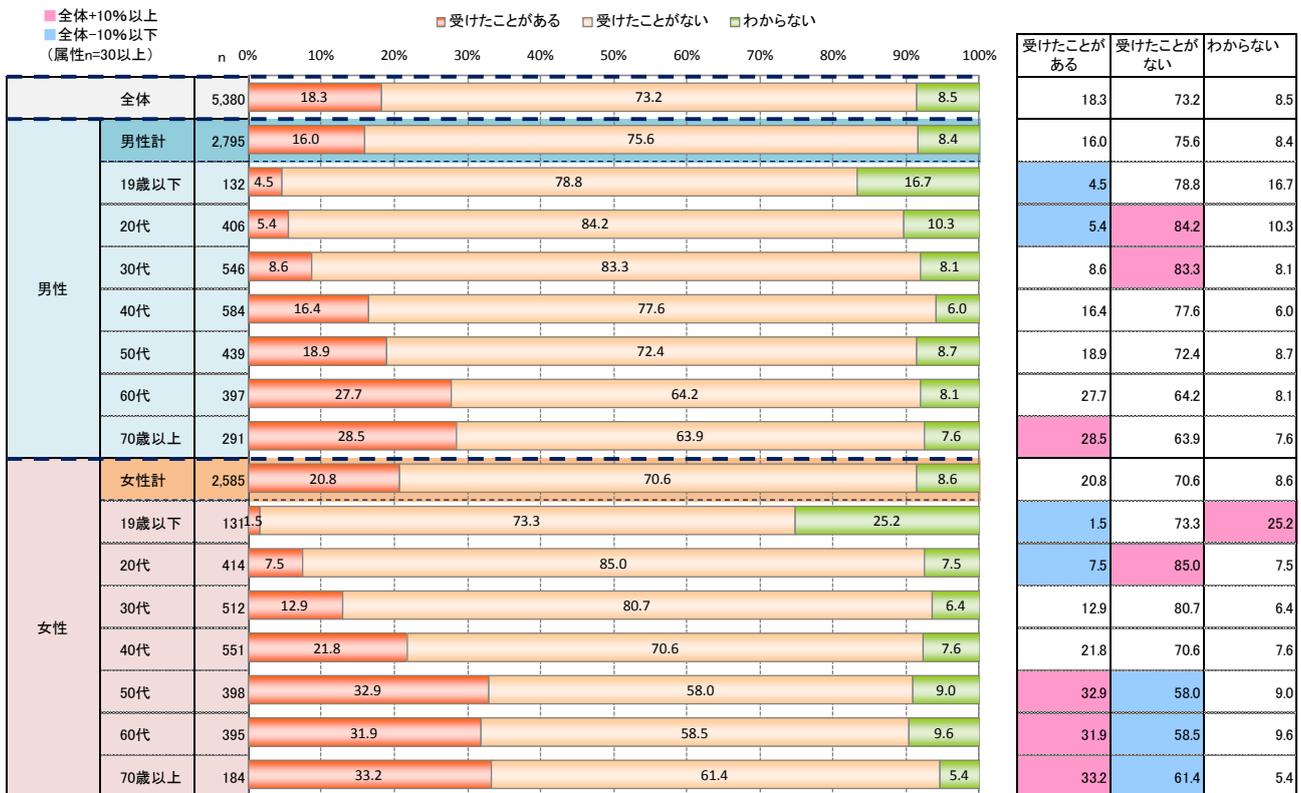
「受けたことがある」 「受けたことがない」 「わからない」

【全体】

- 「受けたことがない」という回答が73.2%で最も多く全体の4分の3近くを占めており、「受けたことがある」という回答は18.3%である。

【性別×年代別】

- 男女別では、「受けたことがある」は、男性が16.0%、女性が20.8%であり、女性の方が4.8ポイント多い。
- 年代別では、男女ともに年代が上がるにつれて「受けたことがある」が多くなる傾向があり、「70歳以上」が男性で28.5%、女性で33.2%と最も多い。
- 女性の「50代」「60代」「70歳以上」はいずれも、「受けたことがある」が30%を超えている。また、「70歳以上：男性」も「受けたことがある」が28.5%であり、全体の18.3%より10.2ポイント多い。
- 一方、男女ともに「10代」「20代」では「受けたことがある」が一ケタ台にとどまっている。
- 「19歳以下」は、「わからない」が、男性で16.7%、女性で25.2%と、他の年代に比べて多い。特に女性では、「わからない」が他の年代は、全て10%未満なのに対し、「19歳以下」では突出している。



5 : 「肝炎ウイルス」について
(2) 肝炎ウイルス検査

問18-2. 問18で「受けたことがある」と回答した方にお聞きします。

あなたが受けたことがある肝炎ウイルス検査はどの検査ですか。

【回答の選択肢】 (複数選択可)

「B型肝炎ウイルス検査」

「C型肝炎ウイルス検査」

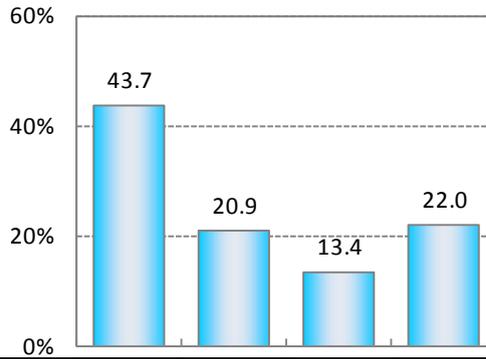
「B型肝炎ウイルス検査とC型肝炎ウイルス検査の両方」 「分からない、覚えていない」

【全体】

- ・ 問18で肝炎ウイルス検査を受けたことがあると回答をした人(回答数984名)に、受けた検査の種類を尋ねたところ、「B型肝炎ウイルス検査とC型肝炎ウイルス検査の両方」が43.7%で最も多い。次いで、「分からない、覚えていない」(22.0%)、「B型肝炎ウイルス検査」(20.9%)、「C型肝炎ウイルス検査」(13.4%)と続く。

【性別×年代別】

- ・ 男女別では、回答傾向に目立った差は見られない。
- ・ 「B型肝炎ウイルス検査とC型肝炎ウイルス検査の両方」は、男女とも「40代」で最も高く、男性が57.3%、女性は50.0%である。



■ 全体+10%以上
■ 全体-10%以下
 (属性n=30以上)

		n 数	両方の検査	B型肝炎ウイルス検査	C型肝炎ウイルス検査	分からない、憶えていない
全体		984	43.7	20.9	13.4	22.0
男性	男性計	447	43.6	20.1	15.7	20.6
	19歳以下	6	33.3	50.0	-	16.7
	20代	22	27.3	45.5	22.7	4.5
	30代	47	36.2	34.0	12.8	17.0
	40代	96	57.3	13.5	8.3	20.8
	50代	83	49.4	15.7	12.0	22.9
	60代	110	38.2	19.1	20.0	22.7
	70歳以上	83	38.6	16.9	22.9	21.7
女性	女性計	537	43.8	21.6	11.5	23.1
	19歳以下	2	-	50.0	-	50.0
	20代	31	48.4	25.8	9.7	16.1
	30代	66	40.9	33.3	6.1	19.7
	40代	120	50.0	19.2	11.7	19.2
	50代	131	45.8	17.6	13.0	23.7
	60代	126	41.3	16.7	12.7	29.4
	70歳以上	61	34.4	29.5	13.1	23.0

5 : 「肝炎ウイルス」について

(2) 肝炎ウイルス検査

問18-3. 問18で「受けたことがある」と回答した方にお聞きします。

検査はどこで受けましたか。

【回答の選択肢】（複数選択可）

「区市町村の施設（保健所、保健センター、役所等）」

「肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関（病院・診療所）」

「肝炎検査以外の目的で行った医療機関（病院・診療所）」

「職場内」

「日本赤十字社の血液センター（献血ルーム等を含む）」

「その他（自由回答）」

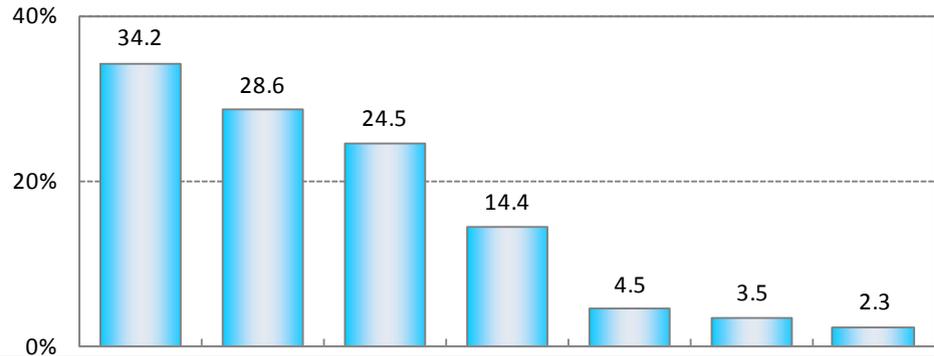
「分からない、憶えていない」

【全体】

- ・ 問18で肝炎ウイルス検査を受けたことがあると回答をした人（回答数984名）に、検査を受けた場所を尋ねたところ、「肝炎検査以外の目的で行った医療機関（病院・診療所）」が34.2%で最も多い。次いで、「区市町村の施設（保健所、保健センター、役所等）」（28.6%）、「肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関（病院・診療所）」（24.5%）「職場内」（14.4%）と続く。

【性別×年代別】

- ・ 男女とも、検査場所の順位は同じで、「肝炎検査以外の目的で行った医療機関（病院・診療所）」の回答が最も多い。
- ・ 男女とも、「職場内」は、年代が上がるにつれて低くなる傾向にあるが、それ以外の回答項目については、年代による傾向は見られない。



■ 全体+10%以上
■ 全体-10%以下
 (属性n=30以上)

		n数	院・診療所	所等	所	職場内	を含ま	その他	ない
全体		984	34.2	28.6	24.5	14.4	4.5	3.5	2.3
男性	男性計	447	36.5	26.8	25.1	15.7	6.3	2.5	3.1
	19歳以下	6	-	66.7	16.7	-	-	-	16.7
	20代	22	40.9	45.5	40.9	27.3	13.6	-	4.5
	30代	47	21.3	38.3	29.8	25.5	2.1	2.1	2.1
	40代	96	33.3	20.8	27.1	16.7	5.2	2.1	4.2
	50代	83	41.0	26.5	19.3	15.7	7.2	2.4	2.4
	60代	110	44.5	19.1	22.7	12.7	7.3	2.7	1.8
	70歳以上	83	34.9	30.1	25.3	10.8	6.0	3.6	3.6
女性	女性計	537	32.4	30.0	24.0	13.4	3.0	4.3	1.7
	19歳以下	2	100.0	-	-	-	-	-	-
	20代	31	29.0	16.1	22.6	35.5	9.7	-	3.2
	30代	66	39.4	22.7	16.7	22.7	4.5	9.1	3.0
	40代	120	26.7	34.2	22.5	17.5	4.2	1.7	3.3
	50代	131	39.7	27.5	17.6	11.5	1.5	4.6	0.8
	60代	126	29.4	36.5	29.4	4.0	2.4	4.8	0.8
	70歳以上	61	26.2	29.5	39.3	8.2	-	4.9	-

5 : 「肝炎ウイルス」について
(2) 肝炎ウイルス検査

問18-4. 問18で「受けたことがない」と回答した方にお聞きします。

あなたが検査を受けない理由はなんですか。

【回答の選択肢】 (複数選択可)

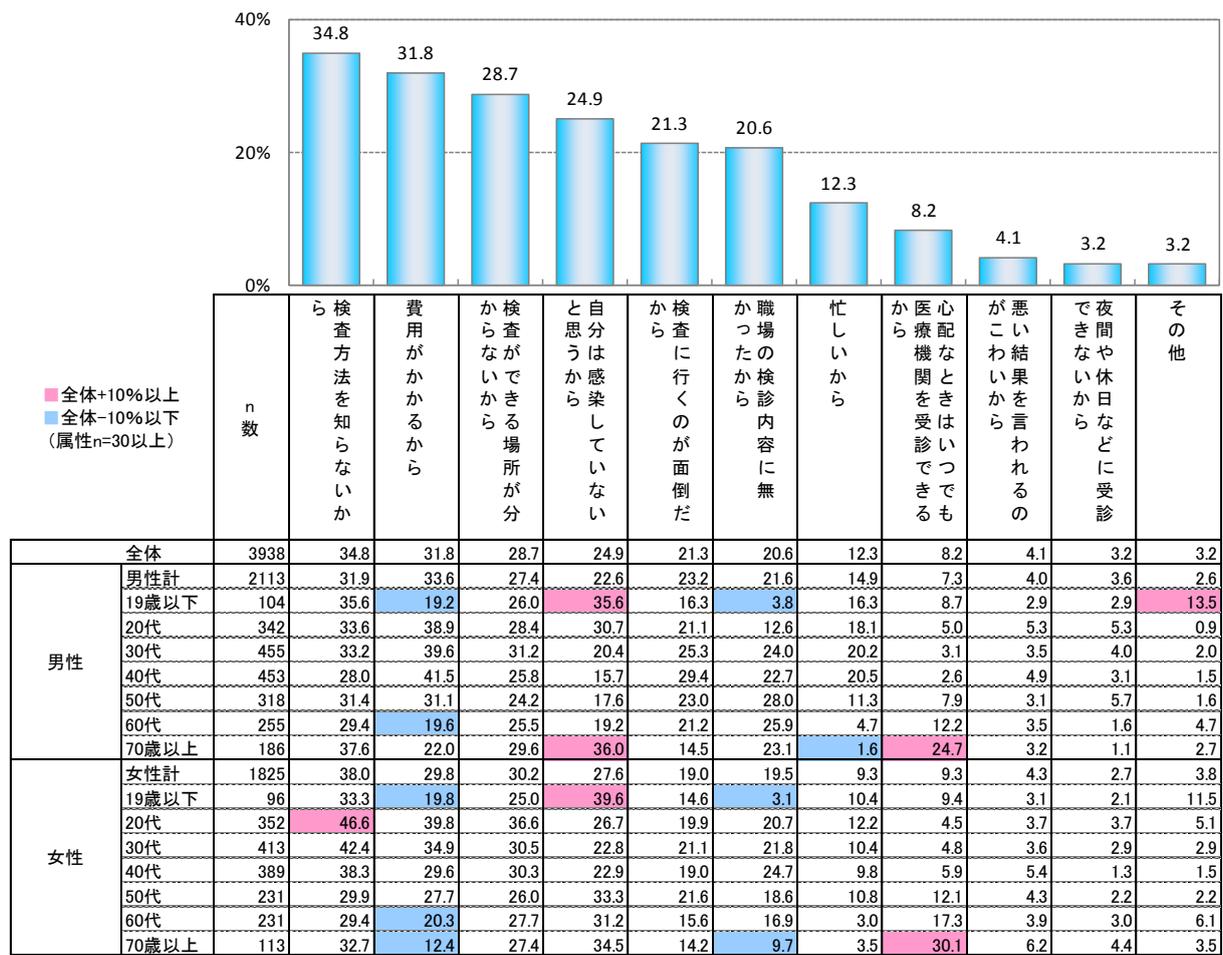
- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 「忙しいから」 | 「検査に行くのが面倒だから」 |
| 「費用がかかるから」 | 「検査ができる場所が分からないから」 |
| 「検査方法を知らないから」 | 「職場の検診内容に無かったから」 |
| 「自分は感染していないと思うから」 | 「悪い結果を言われるのがこわいから」 |
| 「心配なときはいつでも医療機関を受診できるから」 | 「夜間や休日などに受診できないから」 |
| 「その他(自由回答)」 | |

【全体】

- 問18で肝炎ウイルス検査を受けたことがないと回答した人(回答数3,938名)に、その理由を尋ねたところ、「検査方法を知らないから」が34.8%で最も多い。次に、「費用がかかるから」(31.8%)、「検査ができる場所が分からないから」(28.7%)、「自分は感染していないと思うから」(24.9%)、「検査に行くのが面倒だから」(21.3%)、「職場の検診内容に無かったから」(20.6%)と続く。

【性別×年代別】

- 検査に行かない理由最も多いのは、男性は「費用がかかるから」(33.6%)であるが、女性は「検査方法を知らないから」(38.0%)である。
- 「19歳以下」では男女ともに、「自分は感染していないと思うから」が最も多い。
- 「女性:20代」は「検査方法を知らないから」が46.6%であり、全体の34.8%、女性計の38.0%と比べ、それぞれ11.8ポイント、8.6ポイント多い。



5 : 「肝炎ウイルス」について

(2) 肝炎ウイルス検査

問19. お住まいの区市町村で肝炎ウイルス検査を受けることができるのを知っていますか。

【全体】

- ・ 「知っている」という回答が16.7%、「知らない」という回答が83.3%であり、大多数の人が在住している区市町村で肝炎ウイルス検査を受けることができることを知らない。

【性別×年代別】

- ・ 男女別では、男性の「知っている」は14.7%、女性の「知っている」は18.8%であり、女性の方が男性より4.1ポイント多い。
- ・ 「30代：男性」「60代：女性」を除き、男女ともに年代が上がるにつれて「知っている」が多くなる。「50代」の女性と「60代」「70歳以上」の男女では、20%を超える。
- ・ 「知っている」が最も少ないのは「女性：19歳以下」の2.3%である。

